

会議録（要旨）

会議名称：令和6年度 第1回上島町子ども・子育て会議

開催日時：令和6年9月27日（金）14:00～15:30

開催場所：上島町弓削地域交流センター 大ホール

出席委員：12名

欠席委員：1名

事務局：住民課・町民生活課：6名

会議次第：1 開会

2 住民課長挨拶

3 委員紹介

4 会の成立について

5 会長・副会長選任

6 議題

（1）計画策定概要について

（2）上島町の現状と課題について

（3）策定スケジュールについて

（4）保育所の統廃合に関する今までの協議について

7 閉会

■会長・副会長の選任について

委員の互選により以下に決定しました。

会長：村上 教美委員（小学校校長会）

副会長：梶田 卓也委員（弓削小学校 PTA 会長）

議題（1）計画策定概要について

（事務局）

計画策定概要について事務局が説明。

（資料3「第3期上島町子ども・子育て支援事業計画の策定について」に沿って説明）

（各委員）

質疑なし。

議題（2）上島町の現状と課題について

（事務局）

上島町の現状と課題について事務局が説明。

（資料4「上島町の現状と課題」に沿って説明）

（会長）

ありがとうございます。ただ今の事務局の説明について、ご意見、ご質問はないでしょうか。

(委員)

町の子育て支援相談窓口について、どこが相談先になるのですか。

(事務局)

子どもの年齢にもよりますが、健康推進課の窓口であったり、放課後児童クラブや保育所関係であれば住民課の相談窓口であったり、児童であれば教育委員会の相談窓口であったり、色々な課にわたっています。

(委員)

私が知らないだけかもしれませんが、そういった窓口をあまり知りません。もっと知られるように周知してください。

(事務局)

相談窓口が更に町民に知られるように周知していきます。

(委員)

育児教室の「まめちびクラブ」の参加率が、11人の回答者で63%と結構な割合となっていますが、育児休暇が取れないという母親がいる中で、平日しか実施されておらず、利用率は60%かもっと低いのではないかと思います。どこで配信しているのか分からないのですが、いつの間にか「社協の施設で今日まめちびしてるよ」とかの経験もあり、利用者や職員も驚いているときがあったので、大きな周知や土日の開催を検討する必要があると思います。

ここに来るたびにアンケートの対象が狭いのではないかとってしまうのですが、これの目的は子育てですか。人口を増やすことも入っているのであれば、結婚する世代とか、結婚しようと思えばできる高校生とか、そういう方々の意見では面白いものが出ると思います。

(事務局)

まめちびの周知に関しては、健康推進課にも土日開催についてなどの意見があることを伝え、工夫をして開催したいと考えます。

(委員)

「小児医療体制」に満足していない割合が57.3%とありますが、私個人の場合、孫が帰って来た時に熱が出て、農協病院へ行きましたが、小児科の別の病院を紹介されて、そこへ行って薬をもらって事なきを得ました。上島町の場合、休日や夜中に子どもが熱を出したのために医療体制を整え、上島町だけでは無理なので因島などの周辺と協力して、どこへ行けばいいかという情報を出せば良いと思います。医療体制に満足していない理由はそういうところにもあると思います。

(事務局)

医療体制については、健康推進課と消防本部と一緒に、どういうアナウンスができるのか協議していきたいと考えます。

(委員)

医療体制については、よく新聞などで「本日の救急当番医」とか掲載されていますが、上島町は県

境にあるので、その尾道バージョンとかの情報が取れば行きやすいと思うので、それを周知すると良いのではないかと思います。

(事務局)

ご意見、ありがとうございます。

(会長)

他にご意見はないでしょうか。

意見が無いようなので、次に移ります。

議題（３）策定スケジュールについて

(事務局)

策定スケジュールについて事務局が説明。

（資料５「第３期上島町子ども・子育て支援計画策定スケジュール案」に沿って説明）

(各委員)

質疑なし。

議題（４）保育所の統廃合に関する今までの協議について

(事務局)

保育所の統合に関する今までの協議について事務局が説明。

(会長)

事務局から説明がありましたが、皆様からご意見等はございますか。

(委員)

今年度中に「方向性」を決定するということで、具体的に言えばどういうことでしょうか。合併するかしないかということですか。「方向性」の意味がわかりませんでした。

(事務局)

令和６年度中に、この会もしくは別の会で決定したいと考えていますが、結論までの過程を含めての方向性です。

(委員)

３つある保育所のどこをつぶして、どこを合併するのか、そもそもそれらを行うのか。

(委員)

それをこの会で決めてしまうのですか。この会として「合併しましょう」というのを決定するという意味合いですか。

(委員)

この会がどこまで権限があるのかということですね。

(事務局)

今まで、保育所の在り方について協議してきたところです。

(委員)

今まで色々な意見があって、まだ結論が出ていないわけですが、今年、方向性を決定したいということで、どういったところまでなのか分かりませんでした。極論にはなりますが、「今年話し合っても何も決まりませんでした」というのも一つの方向性かと思います。具体的にここまで決めなくてはいけないというのも特にないですよね。

(委員)

保育所もかなり人数が少ない状況で、岩城と弓削に振り分けるという大まかな方向性があった上で、住民の意見を取り入れた結果、もう一度話し合おうという結果になっています。決めるのであれば、行政の方で「立ちいかなくなるからこうする」と決めるしかないのではないのでしょうか。周りの意見を全部聞いても決まらないのではないのでしょうか。統合して2つの保育所にするにしても、無くなる地域が出るので、絶対分かりましたとはならないので、どこで折り合いをつけていくのかだと思います。

(委員)

統廃合は関心のある事柄になると思うのですが、どこが主導して行うのかわからない状況です。どこが主導して、どういった方針があるのでしょうか。

(事務局)

町の意向としては、3園ある保育所を2園にするという方針で協議してまいりました。

(委員)

今いる子どもの推移をみるばかりで、先に人数を増やすことは考えていないのかなと、毎回言っていて、実際問題難しいとは思いますが、子どもを増やすことを同時に考えたら良いのではないかと思います。3園を継続させるには「皆さんどれだけ子どもを産んでくださいね」という話ですが、子どもの数をどれだけ維持したら良いかというデータは今までなかったと思います。これだけの減少が予想されるので、2園もしくは1園にするという話ばかりで、ここから人数上げて行けばよいので、町は新しい働き口をつくるという話はないです。そういう方向の議題も是非挙げてください。

(委員)

2園にするというのは決定事項なのでしょうか。

(事務局)

正式決定ではないですが、その方向でまず話し合いを進めてまいりました。

(委員)

話が戻るのですが、この会の権限のところがはっきりしなかったのですが、この会で「人数が 0 になったところから休園状態にしていく」ということを決定したら、町はそうように実施してくれるのでしょうか。

（事務局）

ここでの決定については、ある程度の権限を持ちます。

（委員）

仮に生名保育所がなくなった場合、遠くなるということが一番困ります。

（梶田委員）

移動距離が変わるという問題が大きいと思います。昔からある問題だと思うのですが、なぜ送迎はないのでしょうか。

（事務局）

町としては基本、保育所の送り迎えに関しては保護者の方が行うということです。

（委員）

生名保育所が無くなると、小学校も町外で、子どもが来なくなって寂しいと意見が出るでしょうが、国の方針ということであれば、そこが一つの着地点になるのではないかと思います。2 つに保育所をするので、折り合いをつけてくださいと話し合っても進まないと思います。

（委員）

小学校も統合するという話があるのですか。生名小学校もなくして、弓削に統合するという話を聞きましたが、保育所も小学校もなくなると生名には何もなくなります。それは地域としては寂しいというのはあると思います。

（委員）

小学校も含めて合併を考えるという方法もあるのではないかと思います。

（委員）

来年からいきなり無くなりますという言い方をされたので、反発もあったと思います。小学校も統合するなら、送迎でも保護者の都合もあるのでバスを出してもらうとか、何かしらの配慮をしていただけるならば考えるという意見に対して、検討するという回答がありました。検討した後の回答はありません。その後、どうになりましたか。

兄弟がいる場合、お兄ちゃんは生名小学校、弟は弓削保育所になる場合もあるし、弟は弓削の保育所へ行っていたのに、弓削の友達と別れて、生名の小学校へ行かなければならないというのは、かわいそうだということになります。統合するのが決まっているのであれば、小学校と時期を合わせてもらえれば、気持ちの持っていく方もあるという意見も出ていました。

（事務局）

小学校の在り方については、今年度中に「在り方検討委員会」を立ち上げようとしています。その

会で、今後に向けて話し合われる予定です。

（委員）

小学校もまだ決まっていらないということでしょうか。

（事務局）

生名小学校がなくなるとか、まったくもって白紙です。

（委員）

魚島小学校のPTA 会長をしています、会長職をするのは小学生高学年なのですが、検討して、実際に合併されたときに自分の子どもがそこにいるのかということになります。私達が話し合った内容が、未来のそこに入っている人の意見と一致しているかということになります。間違っていたら申し訳なく思います。この会で意見の集約があって、PTA 会長が報告されると思うのですが、意見が極端に寄ってないかなという印象があります。結婚された方などに対象者を広げてもらって、広い意見を聞いた上でないと、判断ができないと思います。

（委員）

ずっと会議に参加させていただいたのですが、昨年までは人数が少ないところは統合されても仕方がないという気持ちが強かったのですが、「あなたのところが無くなったらどうする」と聞かれたときに、他人事として捉えてたと思いました。「自分ところが無くなったらどうするか」と聞かれたときにきちんとした回答が出来るかということと、また、「子どもは宝だから、いくら少なくとも見てやればいいじゃん」という高齢者の言葉を聞きました。人数が少なくても手厚い保育を提供していくと良いと思います。また、保育所の子どもだけではなく、出産前から出産後の子どもがつらい思いをしている姿をよく見ているので、支援をする必要があるところがたくさんあると思います。いつか統合する時は来るとは思いますが、小学校とともに話を進めていくというのが一番無難で、みんなが納得しやすい回答だと思います。色々な新たな問題が出ると思うので、それらをクリアにして、みんなが喜んで統合して良かったというものが出来上がらないと、良い子育て環境はできないと思います。

（委員）

話を聞いていて一番に思うのは、生名が無くなるという憶測による状態で話が向いていて、また保護者の意見を無視しすぎたため、現場の状況をお伝えしないとわからない状況にあると思います。保育所は、保育が必要な子を預かるのが原則であるため、保護者はそれを保証して頂きたいと思っています。保育所は町立である以上、町が決定することだと思うので、皆さんの意見を取り入れた上で、現場側、地域側、保護者側がより良い方向に向いていく決定が、方向性を決めるということではないでしょうか。こども大綱にもあるように、「こどもまんなか」として考えるならば、子どもを中心に考えることが優先順位ではないかと思います。

（会長）

他にご意見はないでしょうか。

特にないようですので、次回が開催が11月ということで、後日改めて事務局の方から日程調整等を行うということによろしいでしょうか。

以上で、本日の協議を終了いたします。ありがとうございました。

以上